

ぞうのオリバー

ホフ作 三原泉訳 偕成社

ふねにのって、ぞうたちがやってきました。サーカスだんにはいるためです。オリバーもいます。みなについてだんちようさんがぞうのかずをかぞえました。「一、二、三、…十。よし」「ぼくをいれて、十一」とオリバー。ところが、だんちようさんは「十一とうも、いらん」。そこでオリバーは、どうぶつえんにいってみましたが、おいてもらえませんでした。でも、オリバーはめげません。こんどは「ぼくをペットにしたいひと、いませんか?」ときいてまわります。

